

令和2年度上越地域若年者自立支援ネットワーク会議 次第

令和2年10月13日(火)
午後2時から
上越市役所301会議室

1. 開 会

2 自己紹介

3 協議内容

- (1) 上越地域若者サポートステーション令和元年度事業報告及び令和2年度実施状況について 資料1~5
- (2) 上越地域若者サポートステーション令和2年度の実施計画について 資料6・7
- (3) 上越地域若者サポートステーションと関係機関の今後の連携について 資料8・9
- (4) その他

4 閉 会

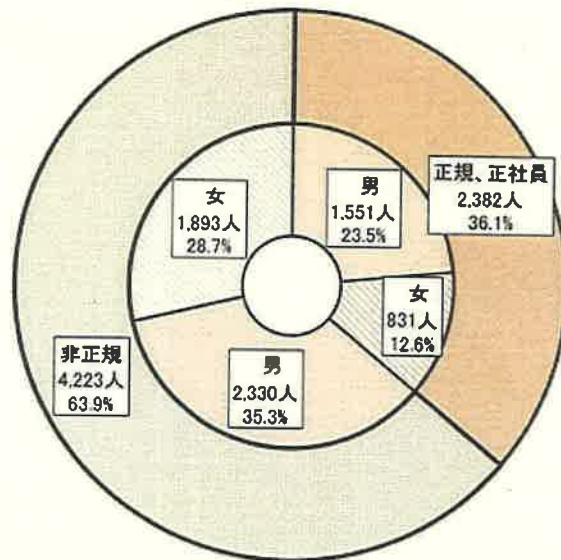
令和元年度地域若者サポートステーション事業の実績



1. 利用者数等実績

	就職等者数		登録者数(人)	総利用件数(件)	相談件数(件)	セミナー等参加者数(人)
	計	うち就職者数(人)				
計	10,603	6,605	15,815	457,293	287,413	169,880
男		3,881	9,335			
女		2,724	6,480			

2. 就職者の内訳



3. 実績の推移



※ 平成27年度より、「就職者」について雇用保険被保険者になり得る就職者に限定
 ※ 平成29年度より、雇用保険被保険者就職であることを書類により確認できる場合に限定
 ※ 平成30年度より、「就職等」とし、雇用保険被保険者となることが見込まれる就職及び公的職業訓練スキームへの移行も含めて評価

令和元年度地域若者サポートステーション事業実績

		令和元年度
①新規登録者数(※1)		15,815
②就職等者数		10,604
	就職者数	6,606
	ステップアップ支援中の就職者数	1,063
	週20時間未満の就労者数	2,314
	公的職業訓練	621
③就職等率(②/①)		67.1%
④定着率(※2)		63.5%

(※1)新規登録者中、リファーマ等により本事業での支援の対象とならなかった方を除いた数値

【参考】「就職者数(就職決定届出書なし)」:160人

サポステ利用者のうち、就職をしているが就職決定届出書類の提出のない就職者数

→就職決定届出書類の提出のない就職については、本人同意のもと、ハローワークへ就労確認を行うこと。

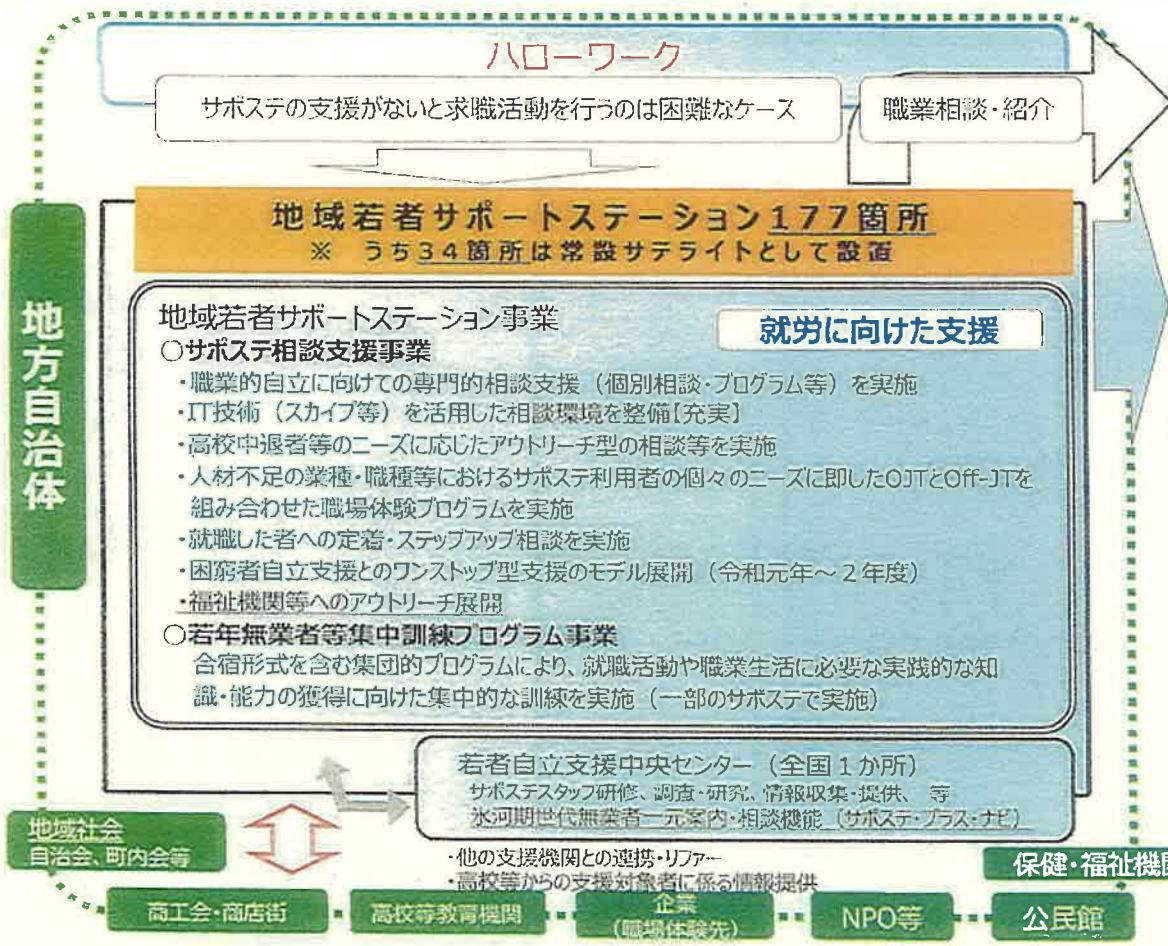
就労確認がとれば、就職実績に含めることができる。

就職決定届出書の提出がない場合の取扱については、平成31年3月29日付事務連絡参照。

(※2)定着・ステップアップ支援を受けた者のうち、就職後6ヶ月経過時点で就労している者の割合

- 若者の数が減っているにもかかわらず、若年無業者（ニート※1）の数は近年、50万人台半ばで高止まりしている。これらの者の就労を支援することは、若者の可能性を広げるだけでなく、将来生活保護に陥るリスクを未然に防止し、経済的に自立させ、地域社会の支え手とするとともに、我が国の産業の担い手を育てるために重要。
- このため、若年無業者等の若者が充実した職業生活を送り、我が国の将来を支える人材となるよう「地域若者サポートステーション」（※2）において、地方自治体と協働し（※3）、職業的自立に向けての専門的相談支援、高校中退者等に対する切れ目ない支援、就職後の定着・ステップアップ支援、若年無業者等集中訓練プログラム等を実施。
- さらに、「経済財政運営と改革の基本方針2019」（令和元年6月21日閣議決定）等を踏まえ、就職氷河期世代の支援のため、対象年齢の40歳代への拡大、把握・働きかけのための福祉機関等へのアウトリーチ展開等を実施する。

（※1 15～34歳で、非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者 ※2 H18年度～、若者支援の実績・ノウハウのあるNPO法人等 実施。15～39歳対象 ※3 地方自治体から予算措置等）

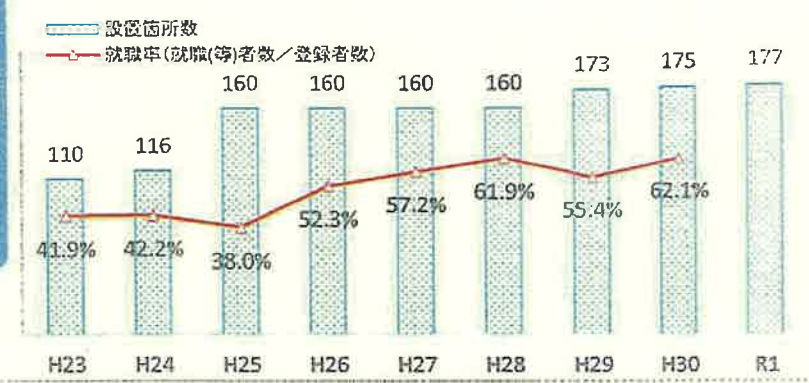


【サポステの実績（平成30年度末現在）】

- 平成18年事業開始以来の進路決定者数（累計） 135,493人
- うち、「新成長戦略」に基づく政府目標「進路決定者数10万人」（平成23～32（令和2）年度に対する進捗状況） 118,586人 →目標達成

平成30年度地域若者サポートステーション事業の実績

進路決定者数(人)	若年無業者等数(人)	登録者数(人)	就職率(%)	総利用件数(件)	相談件数(件)	セミナー参加者数(人)
10,197	10,104	16,271	62.1%	484,139	305,858	178,281



* 平成27年度より、「就職者」について雇用保険被保険者になり得る就職者に限定、さらに平成29年度より、雇用保険被保険者であることを書類により確認できる場合に限定
 * 平成30年度より、「就職等」とし、雇用保険被保険者となることが見込まれる就職及び公的職業訓練スキームへの移行も含めて評価

平成31年度 上越地域若者サポートステーション 利用状況

(単位:件)

1. 利用状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規登録者数		9	8	10	9	6	3	3	4	7	10	11	7	87
登録外新規相談者数		3	4	1	3	2	2	1	0	1	4	5	2	28
来所者数(延べ)		88	89	83	81	80	84	72	58	110	129	103	95	1072
来所者内訳														
本人		78	81	71	68	68	80	68	52	103	123	91	88	971
保護者		6	6	8	8	10	1	3	4	4	3	7	5	65
その他		4	2	4	5	2	3	1	2	3	3	5	2	36
相談件数(総数)		114	76	82	75	58	73	123	85	116	133	114	94	1143
相談件数内訳(来所)														
本人		38	32	26	26	23	25	26	30	49	49	42	30	396
保護者		3	4	4	4	3	1	2	2	1	0	3	3	30
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
相談件数内訳(電話・mail)														
本人		65	32	41	38	24	33	88	44	65	78	45	53	606
保護者		8	5	11	6	8	14	7	8	1	6	20	8	102
その他		0	3	0	1	0	0	0	1	0	0	3	0	8
就職者数(週20時間以上の就労)		4	1	3	4	4	3	3	2	2	3	4	2	35
進路決定内訳														
正社員		1	1	1	2	3	1	1	0	1	1	3	0	15
それ以外		3	0	2	2	1	2	2	2	1	2	1	2	20

2. 新規登録者の区分状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
年齢別	19歳以下	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	1	1	7
	20～24歳	5	1	3	0	1	0	2	0	3	2	2	2	21
	25～29歳	1	5	3	3	2	0	1	1	2	3	4	2	27
	30～34歳	1	1	2	3	1	2	0	2	1	3	2	2	20
	35歳以上	1	1	1	1	1	1	0	1	1	2	2	0	12
不明		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男女別	男性	6	5	5	8	4	0	1	4	3	4	7	2	49
	女性	3	3	5	1	2	3	2	0	4	6	4	5	38

3. 新規登録者の居住地域

地域	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
上越市		5	8	6	7	4	2	2	2	3	7	10	5	61
糸魚川市		1	0	2	1	1	0	1	1	2	3	1	1	14
妙高市		3	0	2	1	1	1	0	1	2	0	0	1	12
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4. 就職者の居住地域

地域	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
上越市		3	0	1	3	3	3	3	1	2	3	2	2	26
糸魚川市		0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	4
妙高市		1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	5
その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

5. 登録外相談者の居住地域

地域	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
上越市		1	3	0	3	2	1	1	0	0	4	4	2	21
糸魚川市		1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
妙高市		1	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	4
その他(不明含む)		0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1

令和2年度 上越地域若者サポートステーション 利用状況

1. 利用状況

(単位:件)

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
新規登録者数		3	6	7	14	13	9							52
登録外新規相談者数		2	4	2	1	6	2							17
来所者数(延べ)		40	32	137	107	86	108	0	0	0	0	0	0	510
来所者内訳														
本人		34	24	126	94	78	104							460
保護者		4	6	7	8	4	2							31
その他		2	2	4	5	4	2							19
相談件数(総数)		140	118	115	140	115	175	0	0	0	0	0	0	803
相談件数内訳(来所)														
本人		21	23	53	54	40	61							252
保護者		2	4	4	6	2	1							19
その他		0	0	0	0	0	0							0
相談件数内訳(電話・mail)														
本人		109	78	48	78	65	113							491
保護者		6	12	9	2	7	0							36
その他		2	1	1	0	1	0							5
就職者数(週20時間以上の就労)		1	7	2	2	3	8	0	0	0	0	0	0	23
進路決定内訳														
正社員		1	4	0	0	0	1							6
それ以外		0	3	2	2	3	7							17

2. 新規登録者の区分状況

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
年齢別	19歳以下	0	1	0	0	2	1							4
	20～24歳	1	2	2	4	0	1							10
	25～29歳	1	0	2	1	1	1							6
	30～34歳	0	2	1	4	3	1							11
	35～39歳	0	1	1	1	2	4							9
	40～49歳	1	0	1	4	5	1							12
不明		0	0	0	0	0	0							0
男女別	男性	1	4	4	9	5	3							26
	女性	2	2	3	5	8	6							26

3. 新規登録者の居住地域

地域	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
上越市		3	4	4	7	11	7							36
糸魚川市		0	1	0	7	0	2							10
妙高市		0	1	3	0	2	0							6
その他		0	0	0	0	0	0							0

4. 就職者の居住地域

地域	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
上越市		1	5	2	1	2	5							16
糸魚川市		0	1	0	1	1	3							6
妙高市		0	1	0	0	0	0							1
その他		0	0	0	0	0	0							0

5. 登録外相談者の居住地域

地域	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
上越市		0	3	1	0	5	2							11
糸魚川市		2	0	1	1	1	0							5
妙高市		0	1	0	0	0	0							1
その他(不明含む)		0	0	0	0	0	0							0

令和2年度地域若者サポートステーション事業目標値

①若年無業者等の就職等率	60%以上
②40歳代無業者の就職等率	35%以上
③定着率(※1)	69%以上
④満足度(※2)	90%以上
⑤新規登録件数	21,700件以上
⑥就職等件数	13,000件以上

(※1)定着率

定着・ステップアップ支援を受けた者のうち、就職後6ヶ月経過時点で就労している者の割合

(※2)満足度

サポステの支援を受けた者に対して厚生労働省等が行う満足度調査において、満足と回答した者の割合

項目	内容			
1 事業目的	若者及び40歳代無業者が充実して職業生活を送り、将来を支える人材となるよう一人でも多くの対象者を就職に結びつけるとともに、就労後のフォローアップを通じて早期離職を防ぐことを目的とする。			
2 相談支援事業	<p>(1) 基盤的支援メニュー 就労相談や生活相談、コミュニケーション訓練、軽作業、グループワーク、協力企業への職場見学、保護者からの個別相談への対応を通じて、就職活動の実施に向けた準備段階の支援を行う。 ① 動機付けに関するメニュー ・ 職業講話 ・ 就職者による体験談講話 ② 自己を知ることに関するメニュー ・ 職業適性検査 ・ 自己理解の促進 ・ 自信回復 ・ コミュニケーション能力の向上 ・ 生活習慣の改善 ・ 身だしなみ ③ 職業の世界を知ることに関するメニュー ・ 職場見学 ・ 就労体験</p> <p>(2) 実践的支援メニュー 基盤的支援メニューの成果を踏まえ、相談支援員・キャリアコンサルタントによる、より実践的な就職に向けた支援プログラムを実施するとともに、就職後の定着・ステップアップのためのフォローアップ支援を実施する。 ① キャリアコンサルティングプログラム ・ 就職活動方法等に関する専門的な相談・個別指導 ・ 就職支援セミナー ・ ハローワークへの同行訪問 ② 職場体験プログラム 実践的なスキルの習得、職場環境への適合を支援 ③ 定着・ステップアッププログラム 就職者に対して、キャリアコンサルティングを実施して、その職場での定着を支援、またキャリアアップを図る事ができる者に対しては本格的な知識、スキルを取得するための中長期的なキャリア形成を支援する。</p> <p>(3) 40歳代無業者支援 就職氷河期に学校を卒業・退学した無業者の滞留が顕著で、これらの者を含む49歳までの無業者数の推計は約120万人にも達しており、以下にて支援を行う。 ・ 福祉機関等との連携（アウトリーチ先機関） 地域包括支援センター 市社会福祉協議会 市福祉課他 ・ 具体的対応 個別支援計画に基づき、自立支援プログラム等参加を促し就業支援を行う。</p>			
3 事業実施期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日(12ヶ月)			
4 実施体制	総員6名 常勤 4名 内訳 総括コーディネーター キャリアコンサルタント 相談支援員 情報管理員 非常勤2名 相談支援員 2名			
5 開所時間	(月・火・金) 午前9時00分～午後5時00分 (水・木) 午前9時00分～午後6時00分 (第1土曜) 午前10時00分～午後3時00分 休日：第2・3・4土曜・日曜・祝日、年末年始			
6 目標値	就職等率(若年者)	60%	新規登録者件数	100件
	就職等率(40歳代無業者)	35%	アウトリーチ支援件数	10件
	定着率	69%	就職等件数	60件
	利用者満足度	90%	進路決定件数(就職以外)	10件
7 概算事業費及び人件費	相談支援事業	基盤的支援メニュー	(体制費 9,652,388円) (活動事務費 695,076円) (一般管理費 147,191円) (消費税 1,049,465円)	
		実践的支援メニュー	(体制費 5,880,147円) (活動事務費 1,284,340円) (一般管理費 147,191円) (消費税 731,167円)	
	合計 19,586,965 円			

令和2年度 上越地域若者サポートステーション 年間行事予定表

令和2年1月30日現在

月	主なサポステ内行事・開催プログラム	出張相談会			出張・会議 (令和元年度実績)	
		ハローワーク				外部会場
		上	糸	妙		
4	2,3・挨拶回り CS/CC/SS/社会参加活動/学習タイム/GATB	23	15	22	15・糸魚川地区公民館 12・総括コーディネーター研修(東京) 24・実務担当者会議	
5	中～下旬・高校訪問 CS/CC/SS/社会参加活動/学習タイム/GATB/調理実習	21	13	27	20・安塚コミュニティプラザ 27・新井ふれあい会館	
6	4,11,18,25・社会人基礎力講座 CS/CC/SS/社会参加活動/学習タイム/GATB	18	10	24	10・糸魚川地区公民館 5・県内サポステ情報交換会(三条)	
7	CS/CC/SS/社会参加活動/学習タイム/GATB/スポーツ/女子会 18・親サポ	16	15	29	22・直江津学びの交流館 29・新井ふれあい会館 25・ブロック研修会(東京)	
8	中～下旬・高校訪問 29・サポステ研修会(令和元年度実績) CS/CC/SS/社会参加活動/学習タイム/GATB/調理実習/PC講座①②	20	19	26	19・糸魚川地区公民館 7・上越地域若年者自立支援ネットワーク会議	
9	CS/CC/SS/社会参加活動/学習タイム/GATB/スポーツ/PC講座③～⑦	17	9	30	16・柿崎コミュニティプラザ 30・新井ふれあい会館 4・県内サポステ情報交換会(長岡) 9・相談業務スキル向上研修(東京)	
10	中～下旬・高校訪問 CS/CC/SS/社会参加活動/学習タイム/女子会/PC講座⑧～⑩	22	14	28	14・糸魚川地区公民館 11・実務担当者会議 25・県内サポステ事例検討会(三条)	
11	14・卒業生懇談会 CS/CC/SS/社会参加活動/学習タイム/GATB	19	11	25	18・名立地区公民館 25・新井ふれあい会館 18・県内サポステ情報交換会(上越)	
12	CS/CC/SS/社会参加活動/学習タイム/GATB/調理実習	17	9	23	9・糸魚川地区公民館 19・県内サポステ情報交換会	
1	7,14,21,28・社会人基礎力講座 5,6・挨拶回り 中旬・高校訪問 CS/CC/SS/社会参加活動/学習タイム/GATB	21	13	27	20・直江津学びの交流館 27・新井ふれあい会館 29・サポステ事業入札説明会	
2	CS/CC/SS/社会参加活動/学習タイム/GATB/スポーツ/女子会 26・親サポ	18	10	24	10・糸魚川地区公民館 4・R2年度提案書3市会議	
3	CS/CC/SS/社会参加活動/学習タイム/GATB/調理実習	18	10	24	17・ユートピアくびき希望館 24・新井ふれあい会館 7・県内サポステ情報交換会	

月以外の欄内数字は日付を表す。
出張・会議を始め、予定は随時更新。

上越地域若者サポートステーション事業実施チャート

地域若者サポートステーション事業
 公益財団法人新潟県雇用環境整備財団(受託団体)

サポートステーション事業(福祉交流プラザ内)

○サボステ事業実施内容

無業の若者へのカウンセリング、電話等による相談、ボランティア体験、保護者向けセミナーなどを行い、就労や進学等社会性の回復を目指す。

○支援体制

- 所在地：上越市福祉交流プラザ内（上越市寺町2-20-1）
- 総括コーディネーター1名
- 事業の企画立案、関係機関との調整、総合窓口、カウンセリング
- キャリアコンサルタント1名
- カウンセリング、出張相談
- 相談支援員3名
- 情報管理員1名

・キャリアコンサルタント
・教員免許状等資格保有者

○相談

- ジョブトレーニング・就活セミナー
- 職場見学・体験、社会参加活動、社会人基礎力講座、PC講座
- 一般職業適性検査
- グループ活動
- コミュニティスペース、コミュニティカフェ、調理実習、スポーツ、女子会
- 親サポートセミナー
- 職場定着・ステップアップ支援
- ステップアップセミナー、卒業者懇談会
- 講演会

助言・提言

報告

関係機関・団体との連携

上越地域若年者自立支援ネットワーク会議

○商工団体

- ・上越商工会議所
- ・上越商工会連絡協議会

○就労支援行政機関

- ・ハローワーク上越
- ・ハローワーク糸魚川
- ・ハローワーク妙高

○各種支援団体等

- ・障害者就業生活支援センターさくら
- ・NPO法人えちご若者元気塾

○教育機関

- ・上越教育大学
- ・新潟県高等学校長協会

○保健福祉行政機関

- ・新潟県上越地域振興局健康福祉環境部
（上越保健所・上越児童相談所）
- ・上越市福祉部すこやかなくらし包括支援センター

○自治体行政機関

- ・新潟県産業労働部しごと定住促進課
- ・新潟県上越地域振興局企画振興部労政担当
- ・上越市産業観光交流部産業政策課
- ・糸魚川市産業部商工観光課
- ・妙高市観光商工課

○各種機関・支援団体

- ・域内企業での就労・ボランティア体験
- ・各民間支援機関との連携、リファーマ（職業訓練へのリファーマ等）
- ・保健福祉行政機関との相互リファーマ
- ・大学との連携（専門的知見の活用）
- ・高等学校との連携、リファーマ（アウトリーチ支援事業）
- ・ハローワークからのリファーマ及び求職活動
- ・テクノスクールでの職業訓練・職場体験
- ・その他就労支援機関との連携
- ・上越地域若年者自立支援ネットワーク会議の開催による連携強化

○上越市

- ・事務所施設の無償貸与
- ・事務所施設の光熱水費の負担
- ・出張相談会等、市の施設利用における使用料免除
- ・市のホームページや広報誌による周知
- ・職場体験、ボランティア活動の場の提供等

○糸魚川市

- ・出張相談会等、市の施設利用における使用料免除
- ・市のホームページや広報誌による周知

○妙高市

- ・出張相談会等、市の施設利用における使用料免除
- ・市のホームページや広報誌による周知

社会人としての自立（就職・復職・進学）

学校との連携におけるサポステ事業の位置づけ

(令和2年度以降、下線部を新たに支援対象に追加)

対象	サポステ事業に位置づけられること	サポステ事業に位置づけられていないこと
在校生(※1)	<ul style="list-style-type: none"> ○高校等(教職員)に対するチラシ等を活用した周知広報、サポステ支援内容等の説明 ○全生徒を対象とした、サポステ支援内容等についての講話や連絡先カードの配付 ○全生徒又は就職希望者等を対象とした、働くことをテーマとした講話 ○学校側への取り組みの依頼(連携のための窓口となる担当者の設定等) 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校内やサポステでの個別相談等の支援(サポステへの登録) ○生徒の氏名や連絡先等の把握
中退予定者	<ul style="list-style-type: none"> ○希望に応じて、学校等へ訪問してのサポステ事業の具体的な支援内容についての詳細な情報提供、手続きの説明 ○定期的な会議の開催を通じた、学校やハローワークと中退予定者情報の共有 ○サポステの支援を希望する中退予定者について学校側への情報提供依頼 ○本人の了解を得た上での、中退予定者の氏名や連絡先等の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校内やサポステでの個別相談等の支援(サポステへの登録)
進路未決定 卒業予定者 (※2)	<p><u>中退予定者を対象とするサポステ事業に加えて下記の支援を追加</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校内やサポステでの個別相談等の支援(サポステへの登録) 	-
中退者 進路未決定卒業生	<ul style="list-style-type: none"> ○中退者の希望に応じた、自宅や学校へ訪問するアウトリーチ型の相談、各種自立支援プログラムへの誘導 ○サポステにおける相談支援等各種支援プログラムの活用 ○定期的な会議の開催を通じた、学校やハローワークと中退者情報の共有 	-

(※1) 定時制・通信制高校に在学する生徒(働かなければ通学も生活維持も困難であるために学びながら働くことを志向する者に限る。)であって、ハローワークでの支援を通じた就職実現が直には困難と思われる、生活習慣、意欲、労働市場・仕事に係る理解不足等の課題を抱える者に対し、所要の手順により登録を行い、就職に向けた支援を行うことは差し支えないものであること。

(※2) 授業が全て終了してから卒業式までの時期等、実質、卒業生と同視できる者(原則として、卒業年度の1月以降の時点で進路未決定の者)